

自己評価の実施及び公表に関する報告書(令和6年度実施分)

令和 7年 2月 10日

事業所名	発達支援ルーム しどれ
事業	児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援
住所	広島市安佐南区西原9丁目1-4
電話番号	082-876-1680
担当者職・氏名	児童発達支援管理責任者 安田郁美

項目	内容	実施時期	特記事項
保護者等による評価	利用する障害児の保護者等を対象としたアンケートを実施する。	令和 6年 12月	
従業者による評価	事業所の従業者による自己評価を行う。	令和 6年 12月	
訪問先施設による評価 ※ 保育所等訪問支援のみ実施すること。	実際に訪問支援を受け入れる保育所等による評価を実施する。	令和 年 月	
事業所全体による自己評価	保護者及び従業者による評価の結果を踏まえて、事業所全体で自己評価を行う。	令和 7年 1月	
	職員間で認識が共有された課題については、改善に向けた具体的な見通しや取組を検討する。	令和 7年 1月	
自己評価結果等の公表	自己評価結果等をインターネットその他方法により公表する。	令和 7年 2月 (公表方法 事業所内掲示 HPへの掲載)	
	保護者等の評価(アンケート)結果を保護者等にフィードバックする。	令和 7年 2月	

※ 公表した自己評価結果を添付してください。

※ 令和6年2月14日(金)までに提出してください。期限内に報告が難しい場合は、報告予定日を速やかに連絡してください。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム しどれ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 12日		～ 令和 7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59 件	(回答者数) 23 件
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 12日		～ 令和 7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8件	(回答者数) 8件
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応により、利用児が楽しく活動できる療育を提供できる	・子どもたちが意欲的に活動に参加することで成長していくという観点から、「やりたい」「できた」の気持ちで大切に支援を行っています。	・職員の提供できる活動の幅が広がるように、研修等で学びの機会を作ります。
2	療育後にフィードバックの時間を設けることや、要望があれば家族支援での面談を行うことで、利用児の様子や課題を保護者と共有できる	・フィードバックの時間を設けられるように、活動終了の時間を設定しています。 ・家族支援での面談を受け付けており、保護者のご要望に応じて日時の調節を行っています。	・保護者が気軽に面談に申し込みやすくなるように、情報の周知を行います。 ・療育時間内の相談が難しい保護者に対しては、職員から面談の提案を行うことや、電話での聞き取りなどで、情報共有を行います。
3	(株)ToyBoxのイベントに誘うことで、療育外での体験や、家族や兄弟と一緒に活動する機会を提供できる	・掲示やプリント配布などで、利用児が対象となるイベントの情報を周知しています。	・イベント経験者や、参加が難しい家庭からの意見を(株)ToyBoxの職員に伝え、イベント内容の充実を図ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の意図が十分に保護者に伝えられていない場合があり、職員によっても技術に差が出ている	・保護者に対して、活動の目的や今後の支援方針を十分に伝えられていない。 ・療育内容やフィードバックなど、職員の個人スキルに影響を受けやすく、差が出やすい。	・フィードバックで保護者に伝える内容を充実させるように、職員一人一人が意識づけを行います。 ・研修や指導により、職員全体の療育スキル向上を目指します。
2	保護者から相談や意見を受け付ける機会が少ない	・療育の最後に保護者と話すの時間を設けているが、活動の遅れなどで時間の短縮が起きやすい。 ・保護者の要望に応じて、家族支援での面談を受け付けているが、周知が徹底できていない。	・療育時間の5分前に活動を終了させ、保護者と話す時間となるように、職員や保護者に周知を行います。 ・療育中やそれ以外の時間での面談が可能であることを保護者に再度伝え、相談を受け付けます。
3	汗の臭いがこもる等、子どもたちが快適に過ごしづらい時間帯がある	・建物の構造上、換気が十分に行えていない。 ・床が絨毯であること、裸足での療育を行っていることで、汗の臭いが付きやすい。	・布用消臭剤の使用や、換気での空気の入替えを気を付けて参ります。 ・特に夏場や、身体を動かして汗をかいた後には、職員が意識して対策に取り組みます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援ルーム しどれ (児童発達支援)					公表日	令和7年 2月 10日	
					利用児童数	59件	回収数	23件
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	<input type="radio"/>				・1対1で支援を行う強みを活かし、今後はより一層、一人一人に合った療育を行えるよう取り組みます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>				・清潔にさせていただきありがとうございます。 ・以前は臭いが気になったが 大幅に臭わなくなったと思う。 ・布用消臭剤の使用や、換気での空気の入替えを気を付けて参ります。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<input type="radio"/>				・子供のペースすぎと一緒に遊んでるだけかなと思う時もある。 ・目的を持って療育を展開し、その目標を保護者とも共有することで、支援内容の充実を図ります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	<input type="radio"/>				・交流についての情報を拝見する機会はないような印象です。 ・事業所として、地域と交流する機会は設けていません。地域生活の困りに対しては、相談を受ける形で支援をしています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<input type="radio"/>				・ぜひ保護者向けのトレーニング実施してほしいです。 ・ご要望を受け、家族への研修会等が実現した折には、保護者への周知を行います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	<input type="radio"/>					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<input type="radio"/>					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				<input type="radio"/>	・もちつきのチラシをもらったが参加料金がすごく高いと感じた。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○				・掲示物で確認させていただいています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○	・訓練などが実施されているか、積極的にこの情報を得ていないためわかりません。	・ホームページや掲示での情報周知を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		・ホームページや掲示での情報周知を行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				・「今日は○○して遊ぼう！」と、目的を持って行っています。 ・毎回行くのを楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				・成長を感じています。いつも本当にありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		発達支援ルーム しどれ (児童発達支援)				公表日	令和7年 2月 10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用児に合わせて、スペースを区切ったり集団遊びを行い、安全に活動できるように工夫している。	・時間帯によっては、療育質が狭く感じると指摘があり、今後さらに活動内容を工夫する必要がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・1対1での療育を基本とし、こどもの状態に合わせて職員数を増やす等の対応を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・消毒や清掃を適宜行っている。	・保護者から臭いを指摘されており、今後改善が必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・こどもの状態や活動内容に応じて、個室を使用したり、療育室を区切っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保護者向け評価を実施し、公表している。 ・職員に結果を伝え、課題の共有と改善への取り組みを話し合っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・法人や事業所にて定期的な勉強会を実施している。 ・外部勉強会への参加を職員に促している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・支援プログラムを作成し、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			・保護者との相談の時間が取りづらいケースがあり、面談や電話相談などでの対応が必要。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・職員が意見を持ち寄り、計画書の作成を行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			・アセスメント内容を保護者に十分に伝えられていないケースがあるため、情報共有の時間を作っていく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・必要項目の記載を行った上で、こどもに合わせた具体的な支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・職員同士が話し合っ、こどもの目標に合った支援内容を決定している。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・こどもの興味や状態に合わせた上で、支援目標に応じた活動プログラムを決定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こどもの状態に合わせて、個別療育や小集団の活動を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・基本的には6か月に1度の見直しとし、必要に応じて見直し時期を早めることで対応している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・地域との繋がりが希薄となりやすいため、積極的な連携が必要。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・必要に応じて、こども達の利用する施設との情報共有を行っている。 ・保護者や施設の要望に応じて、保育所等訪問支援の案内を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者と相談し、必要に応じてアセスメントシートの作成などを行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・事業所の時間外で地域と繋がりのある利用児が多く、改善の要望は出ていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・療育の最後にフィードバックの時間を設けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・相談受付や外部研修の案内などで、対応している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・療育中や療育後に、相談を受け付ける時間を作っている。 ・家族支援での面談を受け付けている。	・面談実施について、保護者への周知が必要。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・(例)ToyBoxのイベントにて、家族やきょうだいと一緒に活動する機会を提供している。	・様々なご家庭に参加していただくために、活動内容の充実が必要。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・「奏音NEWS」やホームページ、Instagramにて、情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・事業所単位でのイベント招待は行っていない。 ・(例)ToyBoxイベントにて補っている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・児童表の記入により、こどもの状況を確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食事場面は設けていない。 ・活動中に使用する物品のアレルギーに関しては、保護者に確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・月に1度、虐待防止委員会を実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・現在、身体拘束の必要な児の利用はない。 ・身体拘束の必要が生じた際には、こどもの状況に応じた個別対応を行う。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルーム しどれ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和 6年 12月 12日		～ 令和 7年 1月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	153 件	(回答者数) 46 件
○従業者評価実施期間	令和 6年 12月 12日		～ 令和 7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8件	(回答者数) 8件
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応により、利用児が楽しく活動できる療育を提供できる	・子どもたちが意欲的に活動に参加することで成長していくという観点から、「やりたい」「できた」の気持ちを大切に支援を行っています。	・職員の提供できる活動の幅が広がるように、研修等で学びの機会を作ります。
2	療育後にフィードバックの時間を設けることや、要望があれば家族支援での面談を行うことで、利用児の様子や課題を保護者と共有できる	・フィードバックの時間を設けられるように、活動終了の時間を設定しています。 ・家族支援での面談を受け付けており、保護者のご要望に応じて日時の調節を行っています。	・保護者が気軽に面談に申し込みやすくなるように、情報の周知を行います。 ・療育時間内の相談が難しい保護者に対しては、職員から面談の提案を行うことや、電話での聞き取りなどで、情報共有を行います。
3	(株)ToyBoxのイベントに誘うことで、療育外での体験や、家族や兄弟と一緒に活動する機会を提供できる	・掲示やプリント配布などで、利用児が対象となるイベントの情報を周知しています。	・イベント経験者や、参加が難しい家庭からの意見を(株)ToyBoxの職員に伝え、イベント内容の充実を図ります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容の意図が十分に保護者に伝えられていない場合があり、職員によっても技術に差が出ている	・保護者に対して、活動の目的や今後の支援方針を十分に伝えられていない。 ・療育内容やフィードバックなど、職員の個人スキルに影響を受けやすく、差が出やすい。	・フィードバックで保護者に伝える内容を充実させるように、職員一人一人が意識づけを行います。 ・研修や指導により、職員全体の療育スキル向上を目指します。
2	保護者から相談や意見を受け付ける機会が少ない	・療育の最後に保護者と話すの時間を設けているが、活動の遅れなどで時間の短縮が起きやすい。 ・保護者の要望に応じて、家族支援での面談を受け付けているが、周知が徹底できていない。	・療育時間の5分前に活動を終了させ、保護者と話す時間となるように、職員や保護者に周知を行います。 ・療育中やそれ以外の時間での面談が可能であることを保護者に再度伝え、相談を受け付けます。
3	汗の臭いがこもる等、子どもたちが快適に過ごしづらい時間帯がある	・建物の構造上、換気が十分に行えていない。 ・床が絨毯であること、裸足での療育を行っていることで、汗の臭いが付きやすい。	・布用消臭剤の使用や、換気での空気の入替えを気を付けて参ります。 ・特に夏場や、身体を動かして汗をかいた後は、職員が意識して対策に取り組みます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援ルーム しどれ(放課後等デイサービス)
------	-------------------------

公表日 令和7年 2月 10日

利用児童数

153件

回収数

46件

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	<input type="radio"/>				・もう少し広くても良いのかなと思います。	・活動内容などを工夫し、限られたスペースでも満足できる療育を目指します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	<input type="radio"/>				・1対1でみてもらえるので安心できます。	・1対1で支援を行う強みを活かし、今後はより一層、一人一人に合った療育を行うように取り組みます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	<input type="radio"/>				・殆ど部屋の中に入った事がないので、バリアフリー化されている事や環境の事がよく分かりません。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	<input type="radio"/>				・汗などの臭いが気になることがある。	・布用消臭剤の使用や、換気での空気の入れ替えを気を付けて参ります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	<input type="radio"/>				・担当者によっての違いを感じ、活動の意図が分からないことがある。	・目的を持って療育を展開し、その目標を保護者とも共有することで、支援内容の充実を図ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	<input type="radio"/>				・こちらの意図が正しく伝わっているか分からず不安に感じることがある。	・保護者に確認を取りながら計画書を作成できるように努力いたします。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	<input type="radio"/>					
保護者 への 説明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	・他の利用児との交流がある。 ・地域の他の子どもと活動する機会は得られていないと感じる。	・事業所として、地域と交流する機会は設けていません。地域生活の困りに対しては、相談を受ける形で支援をしています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	<input type="radio"/>					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	<input type="radio"/>					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	<input type="radio"/>				・イベントが有料化され参加できない。 ・ペアレントトレーニングなどあれば参加してみたい。	・ご要望を受け、家族への研修会等が実現した折には、保護者への周知を行います。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	<input type="radio"/>				・活動の最後に毎回様子を伝えてくれてます。	・活動後にフィードバックの時間を設けられるように、今後も意識していきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	<input type="radio"/>				・フィードバックの時間には相談が難しい。 ・質問をすると返答を得られる。	・保護者の希望に応じて、家族支援での面談を受け付けていることを周知いたします。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	<input type="radio"/>					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>	・野外活動を定期的に開催している。 ・他の保護者と知り合う機会はない。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				○		・ホームページや掲示での情報周知を行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				○		・ホームページや掲示での情報周知を行います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○				・正面の入り口が塞がれた際、ほかに避難口はあるのか気になります。	・建築物の構造上、スタッフルームからの避難となります。保護者が疑問を質問しやすい関係づくりを気を付けて参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	○					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	○				・いつも安心して遊べている。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	○				・その時の心身の状況にあった活動を提供してもらえているので、毎回楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	○				・子どもも通所を楽しみにしており、親も活動内容に満足しています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援ルーム しどれ(放課後等デイサービス)				公表日	令和7年 2月 10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用児に合わせて、スペースを区切ったり集団遊びを行い、安全に活動できるように工夫している。	・時間帯によっては、療育質が狭く感じると指摘があり、今後さらに活動内容を工夫する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・1対1での療育を基本とし、こどもの状態に合わせて職員数を増やす等の対応を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・消毒や清掃を適宜行っている。	・保護者から臭いを指摘されており、今後改善が必要。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・こどもの状態や活動内容に応じて、個室を使用したり、療育室を区切っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・保護者向け評価を実施し、公表している。 ・職員に結果を伝え、課題の共有と改善への取り組みを話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		・第三者による外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・法人や事業所にて定期的な勉強会を実施している。 ・外部勉強会への参加を職員に促している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・支援プログラムを作成し、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			・保護者との相談の時間が取りづらいケースがあり、面談や電話相談などでの対応が必要。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・職員が意見を持ち寄り、計画書の作成を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			・アセスメント内容を保護者に十分に伝えられていないケースがあるため、情報共有の時間を作っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		・必要項目の記載を行った上で、こどもに合わせた具体的な支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・職員同士が話し合っ、こどもの目標に合った支援内容を決定している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・こどもの興味や状態に合わせて上で、支援目標に応じた活動プログラムを決定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こどもの状態に合わせて、個別療育や小集団の活動を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・基本的には6か月に1度の見直しとし、必要に応じて見直し時期を早めることで対応している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・地域との繋がりが希薄となりやすいため、積極的な連携が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・必要に応じて情報共有を実施している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・児童発達支援との複合型のため、連続した支援が可能。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・保護者と相談し、必要に応じてアセスメントシートの作成などを行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			・事業所の時間外で地域と繋がりのある利用児が多く、改善の要望は出ていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・療育の最後にフィードバックの時間を設けている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・相談受付や外部研修の案内などで、対応している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 療育中や療育後に、相談を受け付ける時間を作っている。 家族支援での面談を受け付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談実施について、保護者への周知が必要。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> (株)ToyBoxのイベントにて、家族やきょうだいと一緒に活動する機会を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なご家庭に参加していただくために、活動内容の充実が必要。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 「奏音NEWS」やホームページ、Instagramにて、情報を発信している。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 事業所単位でのイベント招待は行っていない。 (株)ToyBoxイベントにて補っている。 	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 児童表の記入により、こどもの状況を確認している。 	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 食事場は設けていない。 活動中に使用する物品のアレルギーに関しては、保護者に確認を行っている。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 月に1度、虐待防止委員会を実施している。 	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> 現在、身体拘束の必要な児の利用はない。 身体拘束の必要が生じた際には、こどもの状況に応じた個別対応を行う。 		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援ルームしどれ（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 15
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月8日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が訪問先・保護者双方に共感的な支援を行い、満足度が高い点	・訪問先への支援では、それぞれの立場や考え・環境をふまえた上での助言を行っている。 ・特に支援者側の押しつけにならないような言葉遣いや提案には配慮している。	・現状の支援の維持 ・園や学校などの施設にかかわる制度への理解の促進を図る
2	児の特性や困り感に対して的確に評価し助言していることが評価されている点	・訪問支援員として、直接支援の経験や知見を持つ作業療法士、教員を配置し、支援を行っている。	・研修や書籍を通じて支援に関する知識を継続的に得ることで、質の高い訪問支援を行う
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問頻度が十分でない（増やしてほしい）と感じる保護者が一部いる	・訪問支援員1人当たりの担当ケースが多い	・訪問頻度については、保護者や訪問先と相談し、それぞれのケースに応じて適切な回数を検討する ・訪問支援員の人員配置を再検討する
2	ペアレントトレーニング等の保護者が参加できる研修の案内がほとんどない	・保護者が参加できる研修を開催していない／外部で開催されている研修についてあまり知らない ・保育所等訪問支援という制度の性質上、保護者全体に対する研修会の案内を必要なタイミングで行うことが難しい	・保護者の研修ニーズを把握し、適切なタイミングで案内できる方法を検討する
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 発達支援ルームしどれ（保育所等訪問支援）

公表日 令和7年 2月 10日

利用児童数

61

回収数

13

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	○					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	○					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	○					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	○				日程調整が難しいと思うが、月一回程度の訪問をしてくださるとありがたいです。 月二回の契約だが、実際は月一回となっている。	訪問支援の頻度については、訪問先の先生方と相談し効果的な頻度を検討した上で、出来る限りご希望に沿えるよう調整してまいります
適切な 支援 の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	○				訪問回数をもう少し可能にして欲しい。 人数は不足していると思う。	
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	○				長い間、同じ先生に担当していただいているので、園時代からの成長過程や、特性などを分かっていたいただいおり、安心です。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	○					
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	○					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	○					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	○					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	○					
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	○					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	○					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	○					
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	○				訪問が数か月空くと、子どもの状況や問題など変わってくるが多く、必要な時に共通理解ができているかはわからない。	都度、保護者の方や訪問先施設の先生と情報共有を回り、お子さんの様子を包括的に評価できるよう心掛けてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	○					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	○					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	○					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	○					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	○					

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	○				学校側が助言などを実行されているか分かりづらいので、次回訪問時などその後どうだったか確認していただきたい。	訪問開始からの経過や、変化について具体的にお伝えできるように取り組んでまいります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	○					
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	○					
非常時等の対応	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	○					
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	○					
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	○					
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	○					
	28	事業所の支援に満足していますか。	○				<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し支援員を増やしてほしい。 ・何年も一緒に我が子を見て下さっており、心強い。また、放デイと連携したシステムも安心です。 ・子どもが学校でうまくいってない時に迅速に対応していただけるので、とてもありがたいです。学校の先生の良いところも伝えてくださり、話も丁寧にしてくださるので、子どもが安心して学校に通えています。親が先生に伝えにくいところを子どもの特性を踏まえたうえで伝えてくださるので、とても助かります。 	ご意見有難うございます。効果的な頻度での介入が可能となるよう、環境を整えた上で、今後も迅速で正確な支援を心掛けてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			令和7年 2月 10日	
発達支援ルームしどれ (保育所等訪問支援)		訪問施設数			49	回収数 15
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	○			<ul style="list-style-type: none"> 適切な支援法について教えていただけたところもうれしいです！ 下学年の学習の取り入れ方を教えていただき、実践していこうと思いました。 本児の状況を理解して助言をいただいて大変助かりました。 いつも丁寧に肯定的に支援してくださりありがとうございます。 いすの足元にマットを敷き、高さを出すと良いという助言をいただき実践しています。 		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> いつも寄り添ってお話を聞いていただきありがとうございます。 高学年に近付いている為、小学校卒業後の進路などを相談し、教えていただきました。 具体的な支援方法を教えていただき助かります。 保護者の思いを受け止めた上で、対応して下さいました。 いつも適切なアドバイスをくださいます。 		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> 保護者の困り感などを懇談会で聞き、そのことについて相談させてもらいました。保護者の気持ちも一緒に考えて下さり心強かったです。 		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	○			<ul style="list-style-type: none"> 保護者の思いなどいろいろな観点で聞けて理解が深まりました。 現学年の二学年下の学習を主にしています。進捗についてこのままで良いか悩んでいましたが、本人の得意分野は学年相応の学習を取り入れていきたいと思えます。 教えて下さる際、言い方がとても丁寧で感じが良かったため、こちらも気持ち良くやってみようと思えます。 		
5 事業所からの支援に満足していますか。	○			<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に関わり方についてなどのアドバイスをくださり参考になります。いつもありがとうございます。 見た目などでは分かりにくい本児の困り感について、訪問時の姿を見て具体的にご指導いただいております。 いつも困っていることに親身になって相談に乗ってもらい感謝しています。相談したこと的確にアドバイスを下さり、次の日からの指導や支援に取り入れることができます。今後もよろしく願っています。 園側の保育方針を理解した上で取り組みそのような支援方法を提示していただいているので助かっています。ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見有難うございます。今後も先生方とは情報共有等を行わせていただきつつ、一人一人に合わせた効果のある支援を心がけてまいります。 	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名							公表日	令和7年 2月 10日
発達支援ルームしどれ (保育所等訪問支援)								
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点		
環 境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		書籍等を使用し、根拠のある支援を行っている。			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価後に業務改善の話し合いを行った。			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に一回のミーティングにて意見を集約している。			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価は行っていない。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内勉強会は月に一回。その他必要な研修に参加できる体制を作っている。			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○					
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		都度相談するようにしている。			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたツールはJSI-Rを、その他観察評価をおこなっている。			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		他のサービスとも連携している。支援の度には行っていないが、月に一度のペースで行っている。			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		必要に応じて報告している。支援の度には行っていないが、月に一度のペースで行っている。			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○					
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		記録は訪問、相談等その都度作成している。				

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じてアセスメントシートを作成している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		○		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	0		
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		就学相談会を開催している。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		初回訪問時や担任変更時に説明している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人の通信を発行している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		都度電話相談などを受けている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		施設の都合も鑑みて、対面若しくは電話にて実施している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		報告書を用いて共有している。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のための研修を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			